

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第44週)

宮城県【平成26年11月06日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

- 2014.10.27 ~ 11.2 ・ 第44週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第41週	第42週	第43週	第44週
水痘	12 2.40	13 1.30	4 0.80	3 1.50	3 1.00	9 1.80		30 1.15	74 1.28	1,771	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎		2 0.20	1 0.20	2 1.00	2 0.67	1 0.20		11 0.42	19 0.33	579	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	10 2.00	24 2.40	7 1.40	15 7.50	12 4.00	1 0.20	3 1.50	72 2.77	144 2.48	15,517	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	3 0.60	5 0.50				2 0.40		8 0.31	18 0.31	381	○→	レ→	→	
伝染性紅斑	11 2.20	3 0.30	7 1.40	2 1.00	4 1.33	17 3.40		23 0.88	67 1.16	2,265	レ→	○→	○→	◎
突発性発しん	4 0.80	9 0.90	5 1.00	2 1.00	3 1.00	5 1.00	1 0.50	16 0.62	45 0.78	1,697	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ	1 0.20	2 0.20	1 0.20					9 0.35	13 0.22	2,420	○→	レ→	レ→	
インフルエンザ											→	→	→	
咽頭結膜熱					1 0.33			20 0.77	21 0.36	597	→	→	→	
流行性角結膜炎											→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12 2.40	13 1.30	3 0.60	3 1.50		17 3.40		76 2.92	124 2.14	4,927	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎	1 1.00								1 0.08	2	→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	1 1.00			7 7.00	1 0.20	10 0.83	369	→	→	→	
クラシヤ肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	7 1.40	2 0.20						16 0.62	25 0.43	549	○→	レ→	→	○
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	3		1			3	3	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向 【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>					
不明発疹症								1						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※										52				

## 今週的全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
- 2類感染症: 結核
  - 塩釜管内 男性1名(第43週)、女性1名
  - 大崎管内 男性1名
  - 仙台管内 男性2名、女性2名
  - 仙台管内 女性1名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O111)
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: 梅毒
  - 仙台管内 男性1名(第42週)
  - 侵襲性肺炎球菌感染症
  - 仙台管内 男性1名(第43週)

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

## 今週の感染症のコメント

- 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 -

【伝染性紅斑】  
仙南管内で警報値を超えた。  
大崎、登米、石巻管内で警報継続中。

## 【病原体検出情報】

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第42週採取分 (10.13～10.19)	第43週採取分 (10.20～10.26)	第44週採取分 (10.27～11.2)
バライフルエンザウイルス1型	2件	3件	0件
バライフルエンザウイルス2型	3件	1件	0件
RSウイルス	0件	1件	3件
アデノウイルス	0件	1件	0件
エンテロウイルス	0件	1件	1件

【伝染性紅斑】  
伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19を病原体とし、4～5歳の幼児を中心に幼児、学童に好発する流行性の発疹性疾患である。県内でも10歳以下を中心に患者報告があり、今週仙南管内で警報値を超え、大崎、登米、石巻管内でも継続して警報値を超えていることから注意が必要である。

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

## 定点把握の対象となる5類感染症(全国 第42週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ:** 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.43)、長崎県(0.29)、愛媛県(0.15)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は4例と前週と比較して減少し、2道県から報告があった。**RSウイルス感染症:** 報告数は2,590例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は北海道(0.68)、宮城県(0.58)、徳島県(0.57)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は島根県(2.87)、北海道(2.34)、鳥取県(2.16)である。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(6.25)、宮城県(4.72)、徳島県(4.61)である。**水痘:** 定点当たり報告数は第39週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は宮城県(1.58)、福井県(1.50)、山形県(1.07)である。**手足口病:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(2.63)、鹿児島県(1.75)、沖縄県(1.68)である。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は第36週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(1.08)、福島県(0.62)、鹿児島県(0.60)である。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は青森県(1.50)、富山県(1.00)、石川県(1.00)、宮城県(0.92)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る):** 定点当たり報告数は増加した。5県から6例報告があり、年齢別では1～4歳(5例)、20代(1例)であった。

\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。( )内数字: 定点当たり報告数